

参加者
募集!

魚のゆりかご水田米に取り組んでおられる皆さん
これから取り組みたいと思っておられる皆さん

申し込みはコチラから



申込締切
11月21日(金)

魚のゆりかご水田米



ネットワーク強化のための 交流研究会



参加
無料 定員
40名

魚のゆりかご水田米の魅力は分かっている、でもそれをどのように取り組み、発展させていけばよいのか…

そんな皆様の力になるべく、お米の流通や地域と取り組む環境保全など、

県内外で実践されている方から体験事例をお話いただきます。

先駆者の方々の事例を元に、滋賀県らしいやり方を考え、意見交換をしませんか?

日時

11月26日 水
13:00~16:00

会場

滋賀県土地改良事業団体連合会
大会議室

住所: 〒521-1224 滋賀県東近江市林町601番地

講演(オンライン)

ハンバーグレストラン「びっくりドンキー」の、 持続的で生物多様性に配慮した お米の仕入れ

「安全で美味しい食事」を提供するために、私たちは農業や環境の課題にも向き合うようになりました。びっくりドンキーでは、生産者と連携しながら、生物多様性に配慮したお米の仕入れに取り組んでいます。

持続可能な栽培をどう実現してきたか、企業としてどのように生産現場と歩んできたかをお話します。

株式会社アレフ SDGs推進部 荒木 洋美氏

2006年から「ふゆみずたんぼプロジェクト」に携わり、生物多様性を高める農法として注目されていた「ふゆみずたんぼ」を北海道で再現。有機農業や生きもの調査の専門家の指導のもと、10アールの小さな田んぼから米づくりを始める。その後、生産者との実践、生育・生物モニタリング、体験イベントやセミナーの開催など、活動の幅を広げる。現在はSDGs推進部に所属し、お米の仕入れに生物多様性への配慮を取り入れながら、自然と人の豊かさが共に続く未来を目指している。

県内の優良事例

魚のゆりかご水田米と 生産者の協働について

せせらぎの郷 藤岡 いづみ氏/八尋 由佳氏

2007年、野洲市須原で設立。翌年より「魚のゆりかご水田プロジェクト」に取組む。田んぼオーナー制を導入し、田植えや稲刈り、生きもの観察会には県内外から多くの参加がある。小学校への出前授業や大学との連携も実施。設立18年を迎え、世代交代が進みつつある。

スーパーホテル滋賀・草津国道1号沿
副支配人 新庄 千加代氏

世界農業遺産である「琵琶湖システム」の取組に賛同し、2023年より健康無料朝食にて「魚のゆりかご水田米」と「環境こだわり農業」で栽培された特A近江米「みずかがみ」を提供している。

意見
交換
会

数名のグループに分かれて魚のゆりかご水田米の
魅力発信について話し合います。

●コーディネーター

京都府立大学生命環境科学研究科 准教授 中村 貴子氏

主な研究テーマは農村女性や集落営農等住民主体による地産地消システムおよび地域資源保全システムの成立要因に関する研究など



主催: 滋賀県農政水産部農村振興課 地域資源活用推進室

077-528-3963 (担当: 西田・田口)

運営: 株式会社ヤマブラ

0748-34-8870 (担当: ヤマブラ 山田ゆ)

魚のゆりかご水田米

ネットワーク強化 のための 交流研究会



事前申込
先着順

参加
無料

定員
40名

日時

11月26日 水
13:00～16:00

会場

滋賀県土地改良事業団体連合会
大会議室
〒521-1224 滋賀県東近江市林町601番地

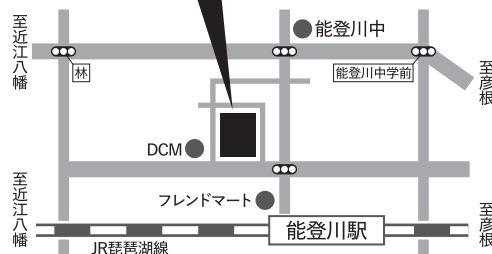
能登川駅より 徒歩3分

会場へのアクセス

滋賀県土地改良事業団体連合会

〒521-1224 滋賀県東近江市林町601番地

駐車場の数に限りがあるので、できるだけ公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします



参加申込み方法

専用申込
フォーム

右記の専用申込フォームまたは、
FAXでお申込みください。

FAXで応募される方は

下記申込書にご記入のうえ、
切り取らずにお送りください。



機種によっては
利用できない場合があります

申込締切

2025年
11月21日(金)
必着

参加申込書

定員に達し次第、締切ます

フリガナ	同行者数(申込者を含みません)
お名前	
電話番号	名
メールアドレス	
所属団体(もしくはお住いの市町村)	

(記載いただいた個人情報は、本講座のみに利用します)

送信先 FAX

0748-34-8976